

事業所名

放課後等デイサービスまきば

支援プログラム

作成日

令和6年

10月

23日

法人（事業所）理念		利用児の個性や特性を十分に理解・尊重し、主体性・自主性を重んじて、一人ひとりの人間としての尊厳と権利を守ります。		
支援方針		個々の特性に配慮し、利用児の持てる力を最大限引き出せるよう支援するとともに、将来、社会性をもって活動等に参加できるよう育みます。		
営業時間		10時00分から17時00分まで	送迎実施の有無	あり なし
支援内容				
本人支援	健康・生活	利用児の障害特性や発達の過程に配慮し、きめ細やかな健康状態の把握を行うとともに、疾病等の早期発見に努めます。集団生活において、手洗い、うがい、マスク着用を励行、習慣化し、感染症防止対策を行います。睡眠、食事、排泄等の基本的な生活習慣を身に着けるとともに、規則正しく生活できるよう支援します。		
	運動・感覚	利用児の発達段階及び特性に配慮し、視覚、聴覚、触覚の感覚を十分に活用できるよう支援します。運動できるスペースの確保と、適正な室温の調整や水分補給を行い、運動能力向上のためのメニューの提供を行います。感覚過敏な利用児に配慮した支援を行います。		
	認知・行動	数の大小、重さ、形や色の違いや音の変化等習得のため、認知教材を使用します。パニック等の行動障害を予防するとともに、発生時については、原因や対処方法について支援します。		
	言語 コミュニケーション	障害特性に応じ、ジェスチャーや絵カード等、コミュニケーションツールの開発に務め、円滑な意思疎通を目指します。利用児の指差しやサインを理解し、意思伝達を積み重ね、コミュニケーション能力の向上に務めます。		
	人間関係 社会性	支援者や仲間たちと良好な関係作りを支援します。また、発達段階や特性に応じ、集団行動への参加を促し、社会性を身に着けます。		
家族支援		障害のある子どもを育てる保護者の気持ちに寄り添い、兄弟姉妹を含めた家族を支援します。	移行支援	将来、利用児が意思決定をし、地域社会で豊かな生活ができるよう、意向の確認や情報提供、環境調整を行います。
地域支援・地域連携		健常児や地域の人と交流できる場を設定します。また、教育機関や行政機関と連携し、個別ケースの検討会を開催します。	職員の質の向上	ミーティング、各研修会・勉強会参加（内部・外部）
主な行事等		避難訓練、季節行事、お誕生会、親子遠足、地域交流、野菜作り・収穫、クッキング体験、創作活動		